

(トップページ: <http://mylibrary.maeda1.jp/>)

(MENAランキングシリーズ: <http://mylibrary.maeda1.jp/MENAranking.html>)

マイライブラリー:0444

(注)本稿は 2018 年 6 月 19 日から 21 日まで 4 回にわたり「アラビア半島定点観測」に掲載したレポートをまとめたものです。

米国と中国、UAE とカタールの順位が逆転:世界平和指数(2018 年版)

(MENA なんでもランキング・シリーズ その12)

2018.6.24

前田 高行

目次	頁
1. 「The Global Peace Index」について	2
2. MENA 諸国の2018年「世界平和指数」	2
3. MENA 諸国の2016年と2017年の比較	3
4. 2013年～2018年の世界順位の推移	4

中東北アフリカ諸国は英語の Middle East & North Africa の頭文字をとって MENA と呼ばれています。MENA 各国をいろいろなデータで比較しようと言うのがこの「MENA なんでもランキング・シリーズ」です。「MENA」は日頃なじみの薄い言葉ですが、国ごとの比較を通してその実態を理解していただければ幸いです。なお MENA の対象国は文献によって多少異なりますが、本シリーズでは下記の 19 の国と 1 機関(パレスチナ)を取り扱います。(アルファベット順)

アルジェリア、バハレーン、エジプト、イラン、イラク、イスラエル、ヨルダン、クウェイト、レバノン、リビア、モロッコ、オマーン、パレスチナ自治政府、カタール、サウジアラビア、シリア、チュニジア、トルコ、UAE(アラブ首長国連邦)、イエメン、

これら 19 国・1 機関をおおまかに分類すると、宗教的にはイスラエル(ユダヤ教)を除き、他は全てイスラム教国家であり OIC(イスラム諸国会議機構)加盟国です。なおその中でイラン、イラクはシーア派が政権政党ですが、その他の多くはスンニ派の政権国家です。また民族的にはイスラエル(ユダヤ人)、イラン(ペルシャ人)、トルコ(トルコ人)以外の国々はアラブ人の国家であり、それらの国々はアラブ連盟(Arab League)に加盟しています。つまり MENA はイスラム教スンニ派でアラブ民族の国家が多数を占める国家群と言えます。

第12回のランキングは、NGO グループ Vision of Humanity が The Economist Intelligence Unit (EIU、英国の経済誌エコノミストの一部門)のデータをもとに取りまとめた「The Global Peace Index 2018」から MENA 諸国をとりあげて比較しました。

* Vision of Humanity のホームページ:

<http://visionofhumanity.org/app/uploads/2018/06/Global-Peace-Index-2018-2.pdf>

1. 「The Global Peace Index」について

Global Peace Index は、各国の平和の程度およびそれを維持するための機能を指数化し、ランク付けしたものである。2007年に実施された第1回調査ではその対象は121カ国であったが、その後毎年着実に増え、今回の2018年版では163カ国を対象に調査が行われている。因みに MENA 諸国については19カ国1機関全てが評価付けされている。

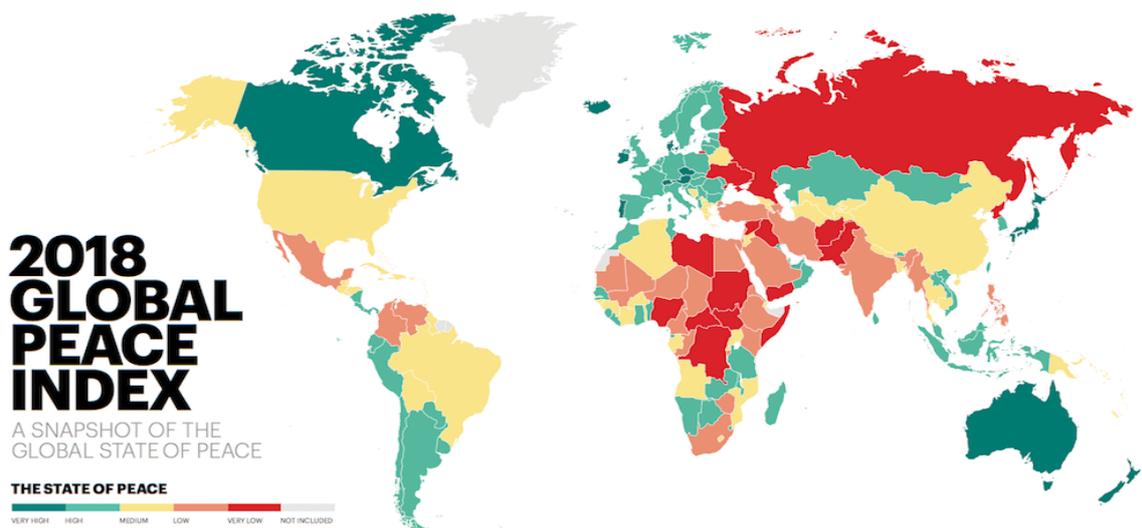
平和指数は EIU 社の国別調査員と外部ネットワークの協力を得て作成されている。指数は小型破壊兵器(銃、小型爆発物など)の入手の容易さ、国防費、汚職、人権に対する尊重の度合いなど24項目をベースにして作成されたものである。

「世界平和指数」の査定結果には以下のような特徴が見られる。

- ・ 平和の度合いは収入、教育制度、地域一体化のレベル等の指標に関連している。
- ・ 平和な国の多くは政府の透明性が高く、汚職が少ない。
- ・ 小さいが安定した国は平和のランクが高い。

(君主制国家が上位を占める MENA !)

2. MENA 諸国の2018年「世界平和指数」(末尾表 12-T01 参照)



(平和の世界地図: 青色 Very high、黄緑 High、黄色 Medium、オレンジ Low、赤 Very low)

MENA19カ国1機関の中で最も平和度が高いのはクウェイトで、世界ランクでは163カ国中の42位である。因みに世界で最も平和度が高いとされる国はアイスランドであり、日本は世界第9位である。

クウェイトに次いでMENA第2位はUAEで同国の世界ランクは45位、MENA第3位はカタール(世界56位)である。4位以下は少し離れてモロッコ(世界71位)、オマーン(同73位)、チュニジア(同78位)が70位台に並んでいる。これら6か国が世界163か国中の上位グループに入っている。このほか世界100位以内にあるのはヨルダン(98位)であり、それ以外の12か国1機関はいずれも100位以下である。

世界100位以内でMENA上位の国の顔ぶれを見るとチュニジア以外は全て君主制国家であることがわかる。これらの君主制国家はいずれも君主(国王または首長)が絶対的な権力を保持している。MENAは絶対君主制国家が命脈を保っている世界的にも珍しい地域であるが、そのような絶対君主制国家の平和度がイラン、トルコ、エジプト、イラクなどの共和制国家よりも高いことがMENA地域の大きな特徴である。因みに同じ君主制国家でもサウジアラビア及びバハレーンの世界ランクはそれぞれ129位及び130位であり他の君主制国家よりかなり低い。

MENA8位のアルジェリア以下の国々はいずれも世界100位以下であり、このためMENAの平和度の世界平均ランクは116位と極めて低い水準にある。MENAの大国であるイラン、エジプトおよびトルコはそれぞれ131位、142位、149位である。

世界140位台にはエジプト、トルコその他イスラエル、パレスチナ自治政府、レバノンがひしめいている。イスラエルは経済、社会に関する世界ランクでは常に上位を占め、MENA諸国の中でも1、2位を争っている¹が、平和度は世界146位と極めて厳しい評価である。さらにイラクは160位、シリアは世界最下位の163位であり「イスラーム国」などの過激組織と内戦状態を続けてきた両国は世界で最も平和度が低い。

因みに日本は世界9位であるが、米国は世界121位と中国(同112位)よりも低い。

なお平和指数ランクでは安全度に応じてVery high(非常に高い)、High(高い)、Medium(中程度)、Low(低い)及びVery low(非常に低い)の5段階に分類されている。日本はVery highであるが、MENA地域ではクウェイト、UAE、カタール、モロッコ、オマーン及びチュニジアの6か国がHighにランク付けされている。またヨルダン及びアルジェリアはMediumとされ米国及び中国も同じ範疇である。そしてサウジアラビア、イラン、エジプト、イスラエル等はLowレベルとされ、トルコ、リビア、イエメン、イラク、シリアの5か国は最も低いVery lowのレベルとされている。

(大幅に悪化したカタール！)

3. MENA 諸国の2016年と2017年の比較 (末尾表 12-T02 参照)

今回と昨年の平和指数、世界ランク及びMENA各国間のランクの変動を比較してみると、まずMENAの平均順位は昨年も今年も同じ116位で変化は無く、平均指数のスコアは昨年の2.537に対して今年は2.516でありこちらはわずかながら改善している。

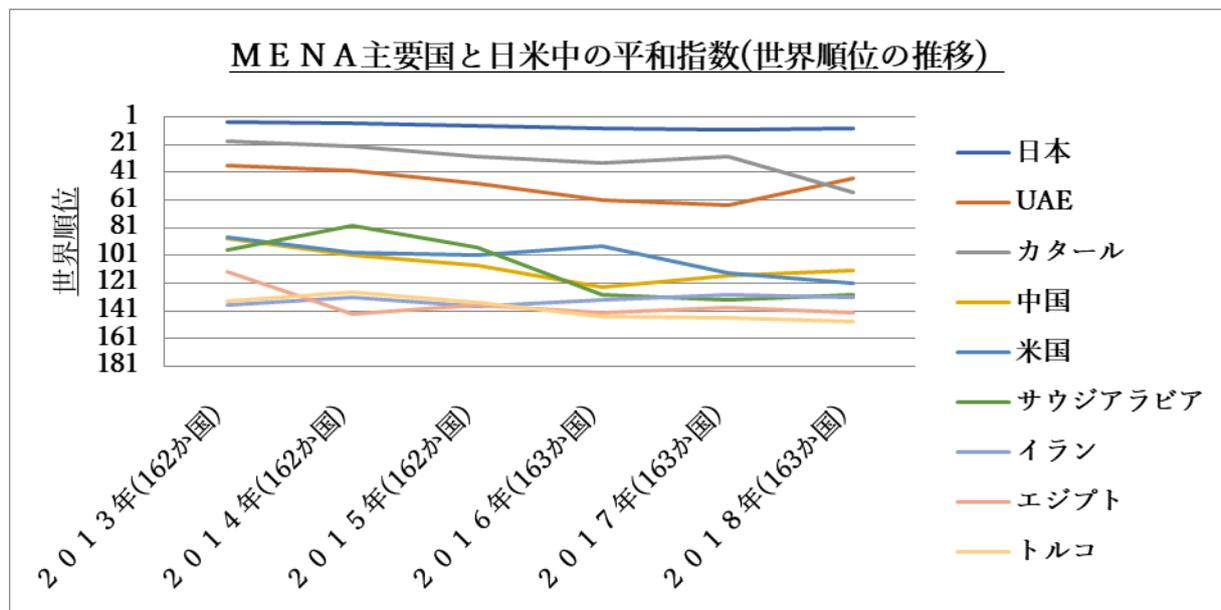
国別に見ると指数が上がった国が10カ国1機関、下落した国が9カ国でほぼ同数であり、世界ランクではアップした国が8カ国1機関、ダウンした国は8カ国、順位に変動が無かった国は3カ国であった。これらの中で順位を大きくアップさせたのがクウェイト(58位→42位)及び UAE(65位→45位)である。これに対して世界ランクを大幅に下げたのがカタールであり、同国は2017年の世界30位が今回は56位と26ランクも急落している。この結果カタールは MENA の中でも UAE に追い抜かれる形となった。同国は昨年6月、イスラム過激派支援を理由にサウジアラビア、UAE など4カ国から断交されており、このことが平和指数と世界ランクの下落に大きく影響したものと見られる。その他の GCC 諸国はサウジアラビアが指数及び世界順位共にアップし、バハレーンはスコアが下落、順位は上昇し、オマーンはスコア、順位共に下がるなど GCC6カ国は明暗を分けている。

その他中東の大国であるトルコ、エジプト及びイランを見ると、トルコはスコア(2. 777→2. 898)、ランク(146位→149位)共に安全度が下がっている。エジプトもスコア(2. 583→2. 632)及びランク(139位→142位)が下落し、イランもスコア(2. 364→2. 439)及びランク(129位→131位)であり、3か国とも平和指数と世界ランクのいずれも前年を下回っている。3か国は程度の差はあるものの散発的にテロ事件が発生しているため平和度の評価が悪化しているようである。

MENA の下位国を見ると、シリアは2年連続で世界最下位である。イラクも2017年161位、2018年160位と世界の最低ランクにとどまっている。但し両国は指数面では前年より改善している点は今後に期待がもてそうである。

(米国を追い抜いた中国、カタールを追い抜いた UAE !)

4. 2013年～2018年の世界順位の推移 (末尾表 12-T03 参照)



ここではMENA6か国(サウジアラビア、UAE、カタール、イラン、エジプト、トルコ)と日本、米国及び中国について2013年から2018年までの順位の変動を見てみよう。

「アラブの春」の騒乱発生2年後の2013年の6カ国の世界順位はそれぞれ、カタール19位、UAE

36位、サウジアラビア97位、エジプト113位、トルコ134位、イラン137位であり、カタールが飛び抜けて高く、イランが6カ国の中では最もランクが低かった。カタールはその後5年間 MENA のトップを続けたが、世界順位は22位(‘14年)→30位(‘15年)→34位(‘16年)→30位(‘17年)とほぼ毎年を落ち続け、2018年には大きく下がって56位であった。この結果、同国は UAE(世界45位)に追い抜かれた。

サウジアラビアは2013年の97位から翌2014年には80位に上昇したがその後2015年、16年と続けて急落し、現在は130位前後にとどまっている。この結果130位台を上下してきたイランと同じレベルになり、過去3年間は毎年130位前後で両国の順位が交互に入れ替わる状態である。トルコは2013年から15年まではイランと肩を並べていたが2014年から低落傾向が止まらず、2016年以降は140位台後半である。エジプトは最近140位台前半を維持しており、イラン、エジプト、トルコ3か国の序列が固定化しつつあるように見受けられる。

日本の順位の変遷は5位(2013年)→6位(2014年)→8位(2015年)→9位(2016年)→10位(2017年)→9位(2018年)と6年連続で安定的にベストテンに入っている。米国と中国は共に2013年は90位台後半、2014年は100位前後と同じような足取りであったが、2016年には米国94位に対し、中国は124位と格差が開いた。しかし両国は2017年に肩を並べた後、2018年は中国が2年連続して順位を上げた一方、米国は逆に連続して順位を下げた結果、2018年には中国が112位、米国は121位と逆転した。中国の平和度が米国を上回っている状態である。本稿冒頭に説明した通り平和指数は小銃など小型兵器の入手の容易さ、人権に対する尊重の度合いなど24項目をベースに作成されているが、銃砲の入手が容易な米国で銃撃事件が多発していることが平和指数ランクの低下につながっているようである。

以上

本稿に関するコメント、ご意見をお聞かせください。

前田 高行 〒183-0027 東京都府中市本町 2-31-13-601
Tel/Fax; 042-360-1284, 携帯; 090-9157-3642
E-Mail; maeda1@jcom.home.ne.jp

世界平和指数ランキング(2018年)

	国名	安全度	スコア	世界ランク
1	クウェイト	High	1.799	42
2	UAE	High	1.820	45
3	カタール	High	1.869	56
4	モロッコ	High	1.979	71
5	オマーン	High	1.984	73
6	チュニジア	High	1.998	78
7	ヨルダン	Medium	2.104	98
8	アルジェリア	Medium	2.182	109
9	サウジアラビア	Low	2.417	129
10	バーレーン	Low	2.437	130
11	イラン	Low	2.439	131
12	パレスチナ自治政府	Low	2.621	141
13	エジプト	Low	2.632	142
14	イスラエル	Low	2.764	146
15	レバノン	Low	2.778	147
16	トルコ	Very low	2.898	149
17	リビア	Very low	3.262	157
18	イエメン	Very low	3.305	158
19	イラク	Very low	3.425	160
20	シリア	Very low	3.600	163
	(MENA 平均)	low	2.516	116
	対象国数			163
(参考)	日本	Very high	1.391	9
世界1位	アイスランド	Very high	1.096	1
	米国	Medium	2.300	121
	中国	Medium	2.243	112
最下位	シリア	Very low	3.600	163

Source:<http://visionofhumanity.org/>

世界平和指数ランキング(2018年 VS 2017年)

国名	2018年		2017年		2016/2017年比較	
	スコア	世界ランク	スコア	世界ランク	スコア	世界ランク
アルジェリア	2.182	109	2.201	109	0.019	0
バーレーン	2.437	130	2.404	131	▲ 0.033	1
エジプト	2.632	142	2.583	139	▲ 0.049	▲ 3
イラン	2.439	131	2.364	129	▲ 0.075	▲ 2
イラク	3.425	160	3.556	161	0.131	1
イスラエル	2.764	146	2.707	144	▲ 0.057	▲ 2
ヨルダン	2.104	98	2.087	95	▲ 0.017	▲ 3
クウェイト	1.799	42	1.909	58	0.110	16
レバノン	2.778	147	2.782	148	0.004	1
リビア	3.262	157	3.328	157	0.066	0
モロッコ	1.979	71	2.004	75	0.025	4
オマーン	1.984	73	1.983	70	▲ 0.001	▲ 3
パレスチナ自治政府	2.621	141	2.774	145	0.153	4
カタール	1.869	56	1.664	30	▲ 0.205	▲ 26
サウジアラビア	2.417	129	2.474	133	0.057	4
シリア	3.600	163	3.814	163	0.214	0
チュニジア	1.998	78	1.977	69	▲ 0.021	▲ 9
トルコ	2.898	149	2.777	146	▲ 0.121	▲ 3
UAE	1.820	45	1.944	65	0.124	20
イエメン	3.305	158	3.412	159	0.107	1
(MENA 平均)	2.516	116	2.537	116	0.022	0

世界平和指数ランキング(2013年～2018年)

国名	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
アルジェリア	119	114	104	108	109	109
バーレーン	95	111	107	132	131	130
エジプト	113	143	137	142	139	142
イラン	137	131	138	133	129	131
イラク	159	159	161	161	161	160
イスラエル	150	149	148	144	144	146
ヨルダン	52	56	71	96	95	98
クウェイト	37	37	33	51	58	42
レバノン	142	146	145	146	148	147
リビア	145	133	149	154	157	157
モロッコ	57	63	86	91	75	71
オマーン	45	59	74	74	70	73
パレスチナ自治政府	-	-	-	148	145	141
カタール	19	22	30	34	30	56
サウジアラビア	97	80	95	129	133	129
シリア	160	162	162	163	163	163
チュニジア	77	79	76	64	69	78
トルコ	134	128	135	145	146	149
UAE	36	40	49	61	65	45
イエメン	152	147	147	158	159	158
(MENA 平均)	101	103	108	117	116	116
対象国数	158	162	162	163	163	163
日本	5	6	8	9	10	9
世界1位	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド	アイスランド
米国	88	99	101	94	114	121
中国	89	101	108	124	116	112
世界最下位	ソマリア	アフガニスタン	シリア	シリア	シリア	シリア

¹ 例えば UNCTAD 「人間開発指数」、WEF 「男女格差」は MENA1 位、世銀 「ビジネス環境」は MENA2 位等。

<http://menarank.maeda1.jp/11-T01.pdf>

<http://menarank.maeda1.jp/8-T01.pdf>

<http://menarank.maeda1.jp/13-T01.pdf>